

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース音楽文化専攻）

項目	音楽文化	対象学年	3年	場所	音楽室
テーマ	グループ学習 合奏演習 パーカッションアンサンブル				
講師	打楽器奏者 山中 佑起子				
<p>講義内容</p> <p>卒業発表に向けて年間を通して、「合唱」「パーカッションアンサンブル」「和太鼓合奏」の3つのジャンルに分かれてグループ学習を行う。</p> <p>(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション 卒業演奏について 鍵盤打楽器基礎練習</li> <li>・サンバのリズム 奏法とリズム</li> <li>・楽曲（クラシックの楽曲アレンジ） パート分けとパート練習</li> <li>・楽曲（サンバアレンジ） パート分けとパート練習</li> </ul> <p style="text-align: right;">※進度により変更あり</p> <p>&lt;学習のねらい&gt;</p> <p>卒業発表に向け、基礎練習の重要性と担当楽器の練習及び理解を深める。 またゲームを通してテンポやリズムなど。 合奏に必要な表現とコミュニケーションを図る。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>パーカッションアンサンブルに親しみを持って取り組んでいただけるよう、ゲームも取り入れ楽しく進めていきたいと思っております。</p>					

シルバーカレッジ 講義概要シラバス (総合芸術コース音楽文化専攻)

項目	音楽文化	対象学年	3年	場所	カレッジホール
テーマ	グループ学習 合奏演習 和太鼓合奏				
講師	和太鼓「松村組」和太鼓奏者 松村公彦				
<p>講義内容</p> <p>卒業発表に向けて年間を通して、「合唱」「パーカッションアンサンブル」「和太鼓合奏」の3つのジャンルに分かれてグループ学習を行う。</p> <p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦基礎練習、構え方やバチの握り、腕の振り方などを確認の上、全身を使ったバチの振り下ろし方を身体に覚えさせる。</li> <li>◦リズムが重なり複合化されたものの手順と表現力を身につける。</li> </ul> <p>中期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦楽曲（終了演奏会で発表する曲）に取り組む。</li> </ul> <p>譜読み、リズム・手順の確認</p> <p>各パート分け（宮太鼓・桶胴太鼓・平胴太鼓・締太鼓・鈴等）。</p> <p>楽器毎に奏法やバチの種類も異なり、より専門的な内容へ</p> <p>曲構成、完了、暗譜</p> <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◦班分けし、各班毎で作曲したものを楽曲の中に組み入れる。</li> </ul> <p>合奏する中で個人がどういった役割を担っているかを理解し、音量・音質を研究する。</p> <p>また、その上で全体としてどのような音を出すかを考える。</p> <p>修得した技術により如何に表現するか・・・を研究し、学年の特徴を出す。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>和太鼓演奏は、身体全体を使うので、血の巡りも良くなり健康にも良いとされる。</p> <p>また全員で音作りをする必要があることから常に相談を行い、そこから仲間意識が強まり楽しく仲良く取り組んでいる。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース音楽文化専攻)

項 目	グループ学習	対象学年	3年	場所	音楽室
テーマ	合唱演習(1)～(16)				
講 師	神戸大学名誉教授 齊田好男				
<p>講義内容</p> <p>卒業発表に向けて年間を通して、「合唱」「パーカッションアンサンブル」「和太鼓合奏」の3つのジャンルに分かれてグループ学習を行う。</p> <p>ここでは全員による合唱を中心とした演習を行う。</p> <p>年度ごと発表曲を決定し、譜読みから発表に至るまで仕上げる。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>合唱・合奏ともに個々のレベルアップと共にチームワークが必要となりますが、音楽文化専攻のそのパフォーマンスは、例年素晴らしいまとまりをみせています。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース音楽文化専攻)

項目	音楽	対象学年	3年	場所	音楽室
テーマ	諸民族の音楽、ジャズと神戸				
講師	神戸大学名誉教授 岩井正浩				
講義内容					
3年					
1限	諸民族の音楽①＝朝鮮				
2限	諸民族の音楽②＝中国				
3限	諸民族の音楽③＝インドネシア				
4限	諸民族の音楽④＝インド				
5限	諸民族の音楽⑤＝アラブ・ペルシャ				
6限	諸民族の音楽⑥＝アフリカ・中南米音楽				
7限	諸民族の音楽⑦＝東ヨーロッパ				
8限	諸民族の音楽⑧＝ジャズと神戸				
<p>講師よりメッセージ＝日本を含め諸民族の音楽は音律がピアノの平均律とは異なるので、音楽の価値を相対的に感じる感性を期待します。ジャズに関しては、ジャズ発祥といわれる神戸のジャズ文化をライブハウスなどで是非体験してください。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース音楽文化専攻)

項目	音楽文化	対象学年	3年	場所	音楽室
テーマ	20世紀以降の音楽				
講師	神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授 田村文生				
<p>講義内容</p> <p>第1回：音楽の色彩と時間 音の色彩、西洋音楽における東洋、民謡と近代性などを、ドビュッシーとストラヴィンスキーの作品を中心に解説します。</p> <p>第2回：熱い抽象と冷たい抽象 20世紀初頭の芸術の大転換に際した、一人の作曲家と一人の画家の出会いを中心に、音楽を構成する方法の変遷を解説します。</p> <p>第3回：反抗と反復を経て 20世紀以降、芸術音楽は大きく様変わりしました。聴いていられない雑音のようなもの、「音楽」だが音が発せられないもの、果たしてそれらは音楽なのでしょうか？ 授業では作品を例示しながらそれぞれの歴史的意義や美学について解説します。</p> <p>キーワード 印象主義、野獣主義、キュビズム、表現主義、ダダイズム、ミニマリズム、楽音、騒音</p> <p>授業時間内で ・講義 ・録音・映像資料の視聴 を行います。</p> <p>講師よりメッセージ 受講にあたっては、楽譜が読めるに越したことはありませんが、20世紀以降の音楽については、むしろ楽譜は全く意味を持たない場合もあります。それは、「記述されたもの」よりも現実に「起こっていること」の重要性を認識することに繋がるでしょう。</p>					